

評価項目（例）

No	評価項目	評価の考え方
1. 自然環境の保全		
1	放流先の状況	水利権及び漁業権がないことが望ましい。 上水として利用されていないことが望ましい。 類型指定されていないことが望ましい。
2	植生自然度	現状の自然を開発することなく、施設を整備することが望ましい。
3	希少動植物	希少動植物への影響がない地域が望ましい。
4	その他自然環境に影響を及ぼす可能性	上記項目（No1 から No3）以外で、その他自然環境に影響を及ぼす可能性がない地域が望ましい。
2. 土地利用		
5	現況土地利用状況	現況の土地利用方法について、特段の利用はされていない地域が望ましい。
6	地形・地質	地形はできるだけ平坦であることが望ましい。 地質は、できるだけ強固であることが望ましい。
7	地歴	過去に工場や処理場等の建設履歴等がなく、埋設物や土壌汚染等の可能性が低いことが望ましい。
8	その他（地下埋設物）	施設建設において、地下埋設物の影響がないことが望ましい。
3. 防災面		
9	水害想定	治水対策がされていることが望ましい。
10	液状化想定	液状化による影響が少ないことが望ましい。
11	標高	標高が高いことが望ましい。
4. 周辺環境の保全		
12	候補地中心から本地域以外の自治体までの距離	候補地中心から周辺自治体までの距離が長いことが望ましい。
13	候補地中心から文化・教育・福祉・医療・保健施設までの距離	候補地の端から文化・教育・福祉・医療・保健施設までの距離が長いことが望ましい。
14	候補地中心から文化・教育・福祉・医療・保健施設の件数	候補地中心から一定距離にある範囲内にある文化・教育・福祉・医療・保健施設の件数が少ないことが望ましい。
15	同一路線への車両集中	バキューム車が施設へ搬入する際に、同一路線ではなく、複数の路線からアクセスすることが望ましい。
16	緩衝帯として防風林、河川等が利用可能な地域	周辺地区との緩衝帯として、防風林、河川等が利用可能な地域が望ましい。
17	観光地	観光地からの距離が長いことが望ましい。
18	日照阻害等の影響	施設が建設されても日照阻害等の影響がないことが望ましい。

No	評価項目	評価の考え方
19	埋蔵文化財との距離	埋蔵文化財からの距離が長いことが望ましい。
5. 社会条件		
20	インフラ整備状況（上水、電気）	候補地周辺のインフラ整備状況が良好であることが望ましい。
21	騒音、振動、悪臭規制	騒音、振動、悪臭に係る規制がかけられていないことが望ましい。
6. 合意形成		
22	土地の取得及び建設同意の取得等についての可能性	土地の取得及び建設同意の取得等についての可能性が高いことが望ましい。
7. 経済性		
23	収集運搬効率及び経済性（収集車による二酸化炭素排出量）	収集運搬効率がよく経済性に優れることが望ましい。
24	事業費(用地費、造成費、施設建設費、維持管理費)	事業費(用地費、造成費、施設建設費、維持管理費、道路設置費、インフラ整備費等)が安価で経済性に優れることが望ましい。